

ビオラ・パンジー

ビオラ・パンジーは日当たりの良い所に置いてください。

日当たりは花の数にも影響してきます。

ビオラ・パンジーはポットを外して、根が張っていたら根鉢をくずして新しい根が伸びるように植えます。

春になって15度を超えると徒長し始めます(間延びする)そうしたら切り戻します。冬の間は切り戻さない。

パンジーは寒さが増してくると、根がドンドン伸びてくるので、少し深植えする。

ノースポール

ノースポールは蒸れに弱いため水のやりすぎは禁物・乾いたらたっぷりやり、月に2回ほど追肥します。

ノースポールは寒さに強く春まで永く楽しめます。

葉が伸びて重なり合うようになれば、風通しを良くするため少し葉を取ります。

とても強く育てやすいので、さほど注意も必要ありません。

ガーデンシクラメン

苗の黒いポットを外したら、根鉢を壊さずそとと植えます。

少し地面から出るように浅植えします。根元に蕾が出ているので、土の中に入らない様に浅植えします。

下に出来ている蕾に光が当たるように、手で葉を外側に、花を内側に広げるといいでしょう。

ガーデンシクラメンは球根なので、さほど肥料をやらなくても大丈夫です。

水やりは冬の間は乾いたらやる程度で良いです。

チューリップ

尖った方を上になるように植え付けします。

球根は平らな部分と丸みをおびた部分がありますが、平らな部分が背中丸みの方がお腹とすると、その横両手の位置から葉が出てくるので植え付けるときに考えて植えます。

地面から5センチが目安です。

追肥もあまり必要としない。

チューリップの薄皮が剥がれていても問題ないです。



きれいに
咲いたら
写真送ってね
1回目は12月末
までに

令和4年度の2回目のアイアイステーション、皆さんのセンスで素敵な寄せ植えを作ってみてください。

毎日通る子ども達や、また道行く人と「きれいな花ですね」の一言から始まるコミュニケーション
水やりをしながら、子どもの安全を見守る「ながら見守り」を定着させていきたいですね。



ビオラ・パンジー、ノースポール



完成イメージ(個数は違います)

2回目以降はいい写真が撮れたら都度
LINEかMAILで地づ協へ